

令和6年度 第2回富里市行政改革推進審議会
会 議 録

〔日時〕 令和6年10月24日（月）

13：30～14：23

〔場所〕 富里市役所分庁舎2階大会議室

○出席者（順不同）

（委員） 寒郡茂樹会長、町田弘副会長、本橋幸子委員、
石川賢治委員、浦辺隆司委員、沖田健二委員

（事務局） 山崎経営戦略課長、鈴木課長補佐、粕谷主査、相川主査
成毛主査

（傍聴者） なし

○次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

（1）第1次政策実行計画事業（令和4～5年度）の外部評価について

4 その他

5 閉会

○配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 「評価の手順（各種事業の評価方法について）」
- ・ 資料2 「対象事業評価シート」
- ・ 資料3 「第1次政策実行計画事業（令和4～5年度）
事業概要及び自己評価シート」

会議録

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 第1次政策実行計画事業（令和4～5年度）の外部評価について

【会長】

- ・事務局から説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

【会長】

- ・それでは委員の皆様から意見等を1人ずつ伺いたい。

【委員】

- ・No8「地域包括支援センターの運営」について、委託料が前年同額となっているが、人件費高騰分は考慮されているか。

【事務局】

- ・長期継続契約に沿った支出なので問題無いと思われるが、担当部署に確認する。

【委員】

- ・長期継続契約による支出であることは理解したが、人件費高騰分が事業継続に影響がないか十分考慮して進めてほしい。
- ・No19～21までの事業について、少子化時代に子育てに関する取組は重要になってくるので今後も推進して行ってほしい。
- ・No29～32の「デジタル化の推進」については、ネット環境の整備が主であり、利用者の利便性を考えると有効なものであると理解するが、環境を整備するだけでなく、利用者がデジタルを使いこなせるよう支援する取組も重要だと感じるが如何か。

【事務局】

- ・令和6年度予算にはなるが、高齢者へのスマホ教室という取り組みも行っており、今後もそのような取組が重要であると認識はしている。

【委員】

- ・高齢者がスマホを使えるようにすることは重要で、6年度から予算をかけて取り組んでいることは評価できるが、事業者へ委託するだけで

なく、事業者と地域の調整なども担ってもらい、より良い事業にしてほしい。

- ・No33「災害対策の強化」について、様々な災害協定を締結しているが、被災した際に協定事業者が自主的に活動できる仕組みが重要であると感じるので、協定内容の確認とあわせてマニュアルの点検もして、より安全、安心な防災体制を築いてほしい。
- ・No34～36の消防関係について広域化の取組が載っていないが、消防の広域化については災害時にも非常に重要になってくるものだと感じるので、国や県の協力を得ながら何としても広域化を進めてほしい。

【委員】

- ・福祉関係全般に言えることだが、改革的な取組が多く職員の負担が大きくなっていると感じるので、職員に対するケアもしっかり行ってほしい。
- ・妊娠から子育てまで切れ目のない支援が大分できていると感じるので引き続き推進して行ってほしい。
- ・学童クラブや地域包括支援センターについて、施設は増えてきているが、携わっている方が少人数で運営されているため負担が増えている印象があるので、人材の発掘、確保にも注力してほしい。
- ・デマンド交通について利用者が増えてきているが、高齢者に対する利用方法の周知を更に推進していく必要があると感じる。
- ・デジタル化の推進については、それはそれで必要だが、アナログしかできない方もいるので、両輪で進めて行ってほしい。

【事務局】

- ・デマンド交通の利用方法の周知については、地域から要望により出張で説明会等の開催も実施しており、引き続き周知を推進していきたい。

【委員】

- ・福祉協議会に職員を派遣していることで、住民と行政のやり取りがスムーズになり非常に良いと思う。
- ・子育て世代への支援として、「入学祝い金」は保護者負担を考慮した良い取組だと思う。
- ・デマンド交通については、運行体制を拡充したことで高齢者の利用も増え非常に良い取組だと思うが、市の歳出も増加しているということでバランスが難しいと思うが検討が必要と感じる。
- ・消防団の消防力向上については、消防団の車両を更新することで地域の消防力は確実に向上するので重要だと感じる。

【事務局】

- ・デマンド交通については、ご意見のとおり運行を拡充したことで利用者は増加しているが、それに対する経費も上昇している状況であり、状況を注視しながら検討が必要と感じている。
- ・消防団の車両更新については、対応年数も踏まえ車両更新計画に沿って更新していくべきではあるが、予算が大きくかかるものなので、毎年度財政部門と協議しながら進めている状況である。

【委員】

- ・No6「放課後児童健全育成の充実」について、資料3のP12について、令和4年度は報酬（人件費）が入っているが、令和5年度は入っていないのは何故か。

【事務局】

- ・令和4年度は公営で運用していた学童クラブが2施設あったため、報酬（人件費）での予算執行があったが、令和5年度から公営で運用する施設が無くなり、全ての学童クラブを民間委託したことにより、報酬としての支出が無くなった。

【委員】

- ・No7「介護保険制度の安定的な運営」について、補助対象者が2名であることが妥当であるのか判断しかねる。

【事務局】

- ・現状の助成制度では十分でないという認識はしており、介護人材の確保のため既に従事している方は続けられるように、新たな人材が入ってきやすいように、環境整備について検討している状況である。

【委員】

- ・No14「特定健康診査・特定保健指導の実施」について、自己評価が「相当程度効果があった」となっているが、受診率の指標に対する実績値の状況や、年度比較での伸び率などから、自己評価が適正なのかの判断ができない。資料の書き方にもよると思うが、例えば類似団体との比較を載せるとか工夫が必要と感じる。
- ・No38～39の交通安全に関する取組については、数年前に発生した八街市での交通事故を契機に、拡充して実施しているものだと思うが、引き続き推進して欲しい。
- ・資料2のNo35とNo36の表記が逆になっているのではないか。

【事務局】

- ・資料についてはご指摘のとおり不備なので修正願う。
- ・資料の記載方法や見せ方については、評価する方が見やすい方法を検討していきたい。

【委員】

- ・ 資料をいただいてから余裕が無くてまだ確認できていない状況である。
- ・ 自己評価の資料について、大体の事業について「非常に効果的だった」「相当程度効果があった」「効果があった」と判断しているが、各柱ごとに総括的な課題や改善点などまとめていれば教えて欲しい。

【事務局】

- ・ 現時点で、柱ごとの総括的な取りまとめは実施しておらず、資料 3 にあるとおり、各担当課で PDCA サイクルによる評価を実施し、課題や解決策を検証しながら事業をまわしている状況である。

【委員】

- ・ 事業を推進する際の課題や問題点について、何かあれば銀行としても地域創生の観点から協力できることがあれば実施していきたい。

【委員】

- ・ No23 「にぎわい拠点づくり」について、都市計画道路 3・4・20 号が完成すると、区画整理事業の見直しについても検討が必要になるのではないか。

【会長】

- ・ 他に意見等無ければ、議題の「(1) 第 1 次政策実行計画事業（令和 4～5 年度）の外部評価について」は以上となる。

4. その他

特になし

5. 閉会